

株式会社 ファルマ
弘前市北横町19−1
Tel 0172-37-6016（代）
発行：編集委員会
印刷：小野印刷
■ 第208号 ■

国境を越えてつながる平和を願う思い

ファルマ弘前薬局　薬剤師　猪股　愛恵

初めて8月3日（月）～6日（木）開催の原水爆禁止世界大会に参加し、4日間を通して広島の原爆被害や平和について学びました。参加前から、現地で多くのことを学びたいという気持ちはありましたが、実際に広島を訪れてみると、資料や写真で見るのとは違い、より身近な出来事として感じることができました。

特に印象に残ったのは、広島平和記念資料館の見学です。当時の方が実際に使用していた物や、被爆した方々の遺品などを目の前にし、原爆によって多くの人の生活や命が奪われたことを改めて実感しました。胸が痛くなったり、涙ぐんでしまったりする場面もありました。

2日目には、ガイドの方と一緒に平和記念公園を巡り、原爆の子の像では、みんなで作った千羽鶴を捧げました。私たちが平和への願いを込めて作った千羽鶴を実際に現地へ捧げることができ、平和への思いを形にすることの意味を感じました。また、世界大会の開会総会にも参加し、国内だけでなく海外からも多くの方が参加していることから、平和を願う思いは国境を越えてつながっていることを実感しました。


原爆の子の像へ千羽鶴を捧げました


反核平和ペンライト行動

3日目は「原爆遺跡巡り」の分科会に参加し、被服支廠を見学しました。座学で説明を受けたあと、現在も残っている建物を実際に目の前でみることで、当時の出来事をより現実的に感じることができました。夜には相生橋で行われた反核平和ペンライト行動にも参加しました。暗い中で多くの参加者がペンライトを灯す光景が印象的で、一人ひとりの平和への思いが一つの光となって広がっていくようでとても綺麗でした。

今回、広島で見て、聴いて、感じたことを自分の中だけで終わらせず、周りの人にも伝えていきたいです。そして、学んだことを忘れず、これからも平和について考え続けていきたいと思います。

写真紹介

原水禁世界大会出発式

8月3日（月）原水禁世界大会 in 広島の出発式が青森空港で行われました。ファルマからはファルマ弘前薬局の猪股薬剤師が参加し、応援に工藤事務部長と工藤次長がかけつけました。


出発当日空港でお見送り

新入職員紹介



ファルマ弘前薬局
高木志穂（たかきしほ）

私の趣味は荒野行動（ゲーム）、アニメ鑑賞、アクセサリー作りで、特技は韓国語です。新しい環境ですごく緊張していますが、一日でも早く仕事を覚えられるように頑張ります。



黒石薬局
三上順子（みかみじゅんこ）

6月から黒石薬局で勤務させていただいております三上順子です。これまで、調剤薬局で2、3年勤務し、その後、病院薬剤師として二十数年勤務してきました。

黒石薬局では、薬局の皆さんに色々教わりながら、日々新たな学習があり、お仕事させていただいております。

まだまだ不慣れで、色々ご迷惑をおかけすると思いますが、黒石薬局の皆さんのように、患者様に寄り添う接客（接遇）を心がけ頑張りたいと思っておりますので、これからどうぞよろしくお願いします。

わからないことも多いと思いますので、皆様優しく教えていただけると嬉しいです。

広島の現地参加に向けての決意表明

藤代薬局　三上　菜美

7月30日（木）に、原水爆禁止2026年世界大会弘前地区合同壮行会が健生病院付属棟会議室で開催されました。

大会の説明の後、世界大会へ参加する5名の代表者から決意表明がありました。「被爆者の方のお話を聞きたい」「現地でしか感じることのできないことを自分の目で見て、学んできたい」「学んだことを周りの人に伝えていきたい」など、それぞれの思いを話されていました2年連続で参加する方からは、昨年の長崎大会との違いも見てきたいという話もあり、広島だからこそ学べることがあるのだと感じました。

ファルマからも多くの職員が壮行会に参加し、参加者へエールを送りました。ファルマでは35年連続で世界大会へ職員を送り出しています。9月11日の報告会では、参加者の皆さんが現地で感じたことや学んだことを聞けるのを楽しみにしています。



猪股薬剤師へエール

原発のない社会を目指す

黒石薬局　薬剤師　成田　創

7月19日（日）青森県大間町で開催された第18回大間原発反対現地集会に参加し、その後行われた町内デモ行進に参加しました。現地集会は11時30分から始まり、12時30分にはデモ行進が行われました。当日はあいにくの雨模様でしたが、多くの参加者が雨具や傘を身に着けて集まり、原発建設反対の意思を示しました。

デモでは「なくそう原発」「フルMOX反対」などと書かれた横断幕やのぼり旗が掲げられ、参加者は大間町内の道路を歩きながらアピールを続けました。レインボーフラッグや平和・環境に関する旗も見られ、脱原発だけでなく、人権や平和を重視するさまざまな市民運動との連帯も感じられました。



今回は扇ねぶたでアピール

今回のデモ行進では、天候に恵まれない状況にもかかわらず、多くの人々が最後まで行進を続け、「原発のない社会を目指す」という思いを共有する機会となりました。参加者それぞれが自らの思いを旗やプラカードに込め、地域住民や通行する人々へ平和的に訴えかける一日となりました。

原発事故の記憶を風化させないために

藤代薬局　薬剤師　水木　啓介

7月8日（水）「ふるさとを返せ！　津島原発訴訟　汚したらきれいにして返せ！」と題した学習会にZOOMで参加しました。講師は津島原発訴訟の原告団長である今野秀則さんで、津島地区の被害状況や訴訟の概要についてお話を伺いました。

津島地区は福島県浪江町にある集落であり、原発事故によって自然や人とのつながり、伝統や文化など、地域のあらゆる営みが奪われました。避難を強いられた結果、管理ができなくなった家屋の多くが解体を余儀なくされたこと、帰還困難区域の規制が解除されたのは地区全体のわずか1・6％にとどまり、残り約98％は現在も許可がなければ立ち入れない状況にあることを聞き、原発事故から15年が経った今もなお、津島地区が過酷な状況に置かれていることを改めて知りました。

津島原発訴訟は、津島地区を再び人が住める状態に戻すこと、つまり「汚したものはきれいにしてから返せ」という、極めて当然の要求を掲げた訴訟です。同時に、原発を国策として推進してきた国の作為そのものに対して責任を問う訴訟でもあります。この訴訟の判決は10月16日に言い渡される予定ですが、判決が出ればそれで終わりというものではありません。原発事故の記憶を風化させないためにも、今後も学習や署名、反対運動など、私たちにできることを続けていきたいと感じました。


ZOOM学習の様子

原発をめぐる問題

本部　次長　工藤　由希子

7月18日（土）弘前駅前記念会館集会室で「核燃・だまっちゃおられん津軽の会」の基調講演と総会が開催されました。講演は、新潟県柏崎市議会議員の五位野和夫さんより「新潟県知事選挙を終えて―原発をめぐる様々な問題をどうすれば政治に反映できるのか、その課題を考える」をテーマにお話しいただきました。

柏崎刈羽原発6号機は2026年4月16日に再稼働しました。再稼働の容認をした花角知事は、2018年の知事選で、「再稼働の是非は県民の意思を問います」と言って当選しましたが、県民の意思を問う方法については、2025年4月に県議会で否決され、2025年11月に柏崎刈羽原発の6号機、7号機の再稼働を容認しました。花角知事は「再稼働の是非は県民に信を問う」という公約を破り、県民を置き去りにしたまま再稼働を容認したのです。

原発は危険なものだと多くの方々が思っていると思います。その一方で、原発マネーに頼らざるを得ない状況にあるということが、反対運動が進まない原因なのではないでしょうか。国は、原発という危険なものではなく、安全に私たちが暮らしていけるような様々な支援を行うべきです。県民の思い、私たちの思いを根気強く訴えていきます。


講師の五位野柏崎市議会議員

写真紹介

ファルマ弘前薬局健康教室

8月1日（土）ファルマ弘前薬局で健康教室を開催しました。健康測定器具の体験や薬剤師による講座や健康体操に加え、特別講師として健生病院の千葉大輔先生をお招きし講演していただきました。今年は健生病院で開催された医療機器体験会と協同したスタンプラリーも企画し、楽しいイベントになるように職員一同で臨みました。参加された方からは「健康について勉強になった」「毎年楽しみにしている」という感想をいただきました。


多くの方にご参加いただいきました

みんなの夏まつり

7月11日（土）悪天候のため屋内開催となった「みんなの夏まつり2026　和徳のひととき」。すみれ保育園の子供たちによるねぷたばやしや各種出店には多くの家族連れが訪れ、会場は大いに賑わいました。地域の皆さんが交流を深める、楽しい夏のひとときとなりました。


会場に響き渡るねぷた囃子

助け合い成長していく

ファルマ弘前薬局　中西　茉季

7月22日（水）に本社会議室で事務目標発表会・交流会が開催されました。事務交流会では、２０２６年度個人目標の発表と接遇について学びました。目標発表では、普段の業務だけでは得られない気付きや学びを得ることができました。他の薬局の事務の方々と交流や意見交換する中で、それぞれの職場での取り組みや工夫を知り、私自身の仕事を振り返るきっかけにもなりました。接遇では、患者様への声がけやアイコンタクトなど、相手の安心感を与える対応の大切さを改めて実感しました。今後も一人ひとりに寄り添った対応を心がけていきたいと思います。

今回事務交流会で得た学びを日々の業務に活かし、患者様から「またこの薬局に来たい」と思っていただける薬局を目指して、職員同士で助け合いながら成長していきたいです。



今年も目標に向かって頑張ります！

住まいは安心の土台
～居住保障を社会保障として考える

本部　総務部長　舘田　総子

7月25日（土）、青森保健生協さくら病院会議室にて青森県社会保障推進協議会第30回総会が開催されました。総会に先立ち記念講演が行われ、住宅政策を専門とする佐藤和宏氏（高崎経済大学准教授）が「社会保障としての居住保障」をテーマに講演しました。

講演では、高齢者が賃貸住宅を確保しにくい現状が具体的な調査結果とともに紹介されました。年齢を理由に入居を断られる例が約3人に1人にのぼること、物件不足や保証人の問題、家賃負担の増大など、住宅をめぐる課題が深刻化していることが示されました。

また、日本では居住権が憲法に明記されておらず、公営住宅の供給抑制や住宅手当の限定性など、制度面の弱さも指摘され、社会保障が十分に機能していない現状を痛感しました。

講師からは「制度を使いやすくすること」「声をあげること」の重要性が語られ、この場面が特に印象的でした。私たち民医連職員には高齢者や立場の弱い方々に寄り添い、市民とともに声をあげる姿勢が求められていると思います。住まいは誰にとっても大事な安心の場所であることを改めて実感し、住宅問題を自分ごととして考えるきっかけとなる学びの多い時間となりました。



高齢者の居住問題を学びました

日常業務で感じる疑問や違和感が大切

技術部長・藤代薬局薬局長　木村　匡宏



7月4日（土）全日本民医連研究倫理審査委員会主催「研究入門」オンライン公開学習会に参加しました。講師は医師・社会福祉士の西岡大輔氏、今回の学習会では、研究は特別なものではなく、日々の業務の中で感情が揺らぐことから始まることを学びました。

まず先行研究を調べ、それでも答えが見つからない疑問こそ研究の価値があるという考え方は非常に印象的でした。また、研究は患者や地域住民のために行うものであり、研究計画作成や倫理審査では、専門職だけでなく一般の人にも理解できる説明が必要であることや研究の実施ありきではなく、その研究が必要な背景、重要性の丁寧な説明、対象者の自由意思を尊重した同意取得が重要であることを改めて認識しました。

学習会を通して研究計画の作成には、まだハードルの高さを感じる部分もありますが今後も日常業務で感じる疑問や違和感を大切にし、自身の学びや研究に繋げていきたいと思います。

薬を渡すだけではない保険薬剤師の仕事の魅力

明治薬科大学　5年生　吉岡（よしおか）　朋哉（ともや）



11週間の実習を通して、保険薬局における薬剤師の役割や業務内容、1枚の処方箋にかかる薬局内での流れなど多くのことを学ぶことができました。正直なところ、実習前は病院薬剤師を第一志望として考えており、将来は病院で働きたいという思いが強くありました。しかし、実際に調剤薬局で実習を経験する中で、患者様一人一人と継続的に関わり、服薬状況や生活背景を踏まえた支援を行う保険薬剤師のやりがいや責任の大きさを実感しました。この経験から、保険薬剤師という仕事の魅力を知り、自分の進路選択が揺れるほど充実した実習となりました。

特に印象に残っているのは、一つ一つの処方箋について疾患や検査値、治療方針、処方意図まで深く掘り下げ、症例検討を行ったことです。単に薬の名前や作用機序を覚えるだけではなく、「なぜこの薬が選択されたのか」「この患者様にとってどのような点に注意すべきか」を考える習慣が身につき、薬学的な視点で処方を評価することの重要性を学びました。また、患者様との会話から得られる情報が薬物療法を支える上で非常に重要であることも実感しました。

11週間という長い期間、丁寧にご指導いただいた薬剤師の皆様並びに事務の皆様は心より感謝申し上げます。この実習で得た知識や経験を今後の病院実習や薬剤師としての成長につなげ、信頼される薬剤師を目指したいと思います。

患者様に寄り添える薬剤師を目指して

青森大学　5年生　成田（なりた）　萌乃（もえの）



黒石薬局での実習を通して、様々な知識を得ただけでなく、薬剤師として患者様の生活の背景に寄り添う大切さを学びました。服薬指導、トレーシングレポート作成、在宅や施設への配達、サービス担当者会議などの多職種との関わりなどを実習させていただく中で、患者様の生活に踏み込むことで多くの情報を得ることが可能になり、地域の方からとても信頼されている薬局であることを学びました。また、服薬指導、電話フォローアップを実施して、患者様と継続的な関わりを持つことの大切さを実感するとともに、コミュニケーションをとる楽しさを感じました。実習の中で、わかりやすい服薬指導をするための処方意図を読み解くより深い知識を学んでいく事がこれからの課題だと気付くことが出来ました。

今回の実習で得た学びをこれから活かし、自分自身の課題と向き合いながら患者様に寄り添える薬剤師になることを目指して成長していきたいと思っています。実習でお世話になりました黒石薬局、ファルマ弘前薬局、浪岡ファミリー薬局の皆さん、本当にありがとうございました。

写真紹介

NO　WAR！緊急スタンディング

6月19日（金）弘前駅前りんご広場で「NO WAR！緊急スタンディング」が行われました。ファルマからは7名参加し、平和への思いを皆でアピールしました。



戦争は絶対ダメ!!

7月10日（金）弘前駅前りんご広場で平和憲法を守るための緊急アクションが開催され、ファルマからも7名の参加があり、平和への訴えで心をひとつにしました。



ペンライトで戦争反対をアピール

りんご広場集会とパレード

6月21日（日）弘前駅前りんご広場で憲法9条守れ、戦争法廃止！集会とパレードが開催され、ファルマから3名の参加でした。悪天候のため集会参加者は少なかったですが、皆で戦争反対の声をあげました。


雨の中集会に参加しました

7月26日（日）憲法９条守れ、戦争法廃止！集会とパレードが弘前駅前りんご広場で開催されました。とても天気がよく、日差しが強い中ではありましたが、元気にパレードを行いました。


強い日差しの中頑張りました

7/3 年金者組合女性部へ出前講座

7月３日（金）、宮川交流センターで年金者組合女性部主催の出前講座が開催されました。ファルマ弘前薬局の猪股薬剤師が「ＯＴＣ類似薬一部保険外療養」をテーマに、制度改正や自己負担、セルフメディケーション、薬局の活用について解説しました。


わかりやすく伝える猪股薬剤師

7/27 喜良市コミュニティセンターへ出前講座

7月27日（月）、喜良市コミュニティセンターで五所川原市社会福祉協議会金木支所主催の出前講座が開催され、ファルマ　一ツ谷薬局の福井薬剤師が「眠くなる話」をテーマに、良質な睡眠のための生活習慣や睡眠障害、睡眠薬の適切な使用について解説しました。


睡眠について詳しく解説する福井薬剤師

7/28 金木東部地区コミュニティセンターへ出前講座

7月28日（火）、金木東部地区コミュニティセンターで五所川原市社会福祉協議会金木支所主催の出前講座が開催されました。ファルマ　一ツ谷薬局の安田薬剤師が「眠くなる話」をテーマに、睡眠の仕組みや質を高める生活習慣、睡眠障害、睡眠薬の正しい使用方法について解説しました。


大人気講座「眠くなる話」

8/9 東部仲町まつりへ出前講座

8月9日（日）、東部仲町まつりで居宅介護支援事業所ファルマの伊勢主任が講演を行いました。介護保険の仕組みや利用方法、制度が抱える課題を解説し、実例を交えながら早めの相談や備え、地域とのつながりの大切さを伝えました。


介護保険制度のしくみを丁寧に解説

わたしの好きなもの

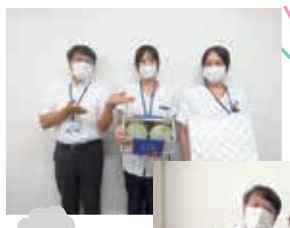
ファルマ弘前薬局　主任　西沢　菜夏

子どもが産まれて約５年が経ちました。私は帰宅した瞬間から子供たちを寝かせるまで座る間もなく動き続けているせいか、ここ５年間はゆっくり座ってごはんを食べた記憶があまりないです。もう少し食を楽しみたいなという思いはありますが、私は自分で作った料理をおいしいと思うことがあまりなく、作っても食べないことが多いです。職場に持っていくお昼ごはんくらいは少し気分があがるようなものにしようと思い立ち、ＧＷ明けにスープジャーを買ってみました。お味噌汁やスープなど、温かいものを温かいうちに食べられるのが嬉しく感じました。それから混ぜごはんをおにぎりにするのにハマり、最近好きなのは鯖、梅干し、鰹節、昆布、大葉、ごまなどを混ぜたもので、子供たちもよく食べてくれます。子供たちは大葉や梅干しを食べないと思っていましたが、幸い好き嫌いは全くないので助かっています。むしろ子どもに不人気の茄子やピーマンも進んで食べ、毎日完食してくれます。「いつもおいしいごはんつくってくれてありがとう。」と言ってくれるので作りがいもあります。先日、夫が料理を作ってくれ、人が作ったごはんってこんなにおいしいんだと感動しました。自分の食事も楽しみつつ、料理を作っておいしいと言ってもらえる喜びを大切にしたいと感じました。


具だくさんの混ぜおにぎり

お盆玉企画「お盆と言えば！？」結果発表

今回も職員アンケートからの出題で、お盆に関係する問題を出させていただきました。クイズには53名の職員が参加し、弘前調剤センターの佐藤薬局長、ファルマ浪岡薬局の村元さん、ファルマ弘前薬局の東屋さんの３名が３問すべてに正解しました！みごと正解した３名には、いとくで購入したビールとメロンをお渡ししました♪

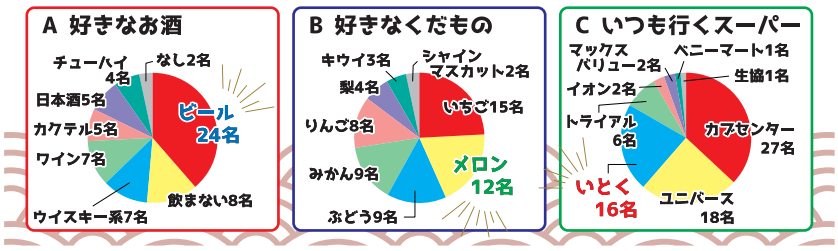

崎野委員長より当選者へお届け♪


大好きなビールとメロンget！

ファルマイズム委員より

今回は当選者が多く出るだろうと予想していましたが、くだもの予想で正解者が多く減り、全問正解者は３名という結果になりました。
皆様、ご参加いただきありがとうございました。

［職員アンケート結果］



―――健康と笑顔　薬でサポート―――